【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年4月6日(2023.4.6)

【公開番号】特開2021-133026(P2021-133026A)
【公開日】令和3年9月13日(2021.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2021-043
【出願番号】特願2020-32819(P2020-32819)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６０１Ｂ
Ａ６３Ｆ　5/04　６９９
Ａ６３Ｆ　5/04　６０１Ｃ
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月29日(2023.3.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前扉と、
回路基板を収容する基板ケースと、を備えた遊技機であって、
前記基板ケースには第１表示部と第２表示部とを備え、
前記第１表示部は、第１文字情報と、前記第１文字情報を特定可能な情報を二次元コードとして示した第１コード情報と、を備え、
前記第２表示部は、前記第１文字情報とは異なる文字情報である第２文字情報と、前記第２文字情報とは異なる情報を二次元コードとして示した第２コード情報と、を備え、
前記前扉には、第３表示部を備え、
前記第３表示部は、前記第１文字情報及び前記第２文字情報とは異なる第３文字情報と、前記第３文字情報を特定可能な情報を二次元コードとして示した第３コード情報と、を備えた
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明にかかる遊技機は、前扉と、回路基板を収容する基板ケースと、を備えた遊技機であって、前記基板ケースには第１表示部と第２表示部とを備え、前記第１表示部は、第１文字情報と、前記第１文字情報を特定可能な情報を二次元コードとして示した第１コード情報と、を備え、前記第２表示部は、前記第１文字情報とは異なる文字情報である第２文字情報と、前記第２文字情報とは異なる情報を二次元コードとして示した第２コード情報と、を備え、前記前扉には、第３表示部を備え、前記第３表示部は、前記第１文字情報及び前記第２文字情報とは異なる第３文字情報と、前記第３文字情報を特定可能な情報を

二次元コードとして示した第３コード情報と、を備えたことを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
この構成によれば、第１表示部に表示された第１文字情報の内容と第１コード情報から得られる特定可能な情報の内容とを実質的に同じにしつつ、さらに、第３表示部に表示された第３文字情報の内容と第３コード情報から得られる特定可能な情報の内容とを実質的に同じにしつつ、一方で第２表示部に表示された第２文字情報の内容と第２コード情報から得られる情報の内容とを異なるようにすることで、第３コード情報や第１コード情報を読み取った際に当該文字情報の内容と読み取ったコード情報から得られた特定可能な情報の内容とが実質的に同じであると認識させることで、第２文字情報の内容と第２コード情報から得られる情報の内容とが実質的に同じであると思い込ませ、不正行為を行おうとする者に誤った第２表示部を備える模造品の基板ケースを作成させることができる。これにより、第２表示部を備えた基板ケースに関する不正行為を効果的に防止できる。